

早寝・早起き・朝ご飯＋運動で生活のリズムを整えましょう！

生活指導だより
第56号

そろえる

溝 辺 中 学 校
令和5年10月14日発行

☆「無言清掃」で心のレベルアップをしよう！☆

今年度の生徒会の3つの行動目標に、「無言清掃」があります。また、先日の生徒会立会演説会でも、学校の課題として取り上げられました。この機会に次のことを意識して清掃活動を見直してみましよう。

自己成長への5つのステップとして、

掃除中に誰にも話しかけない 第1段階の「がまん清掃」

お互いに助け合って掃除をする 第2段階の「親切清掃」

仕事を探して、見つけて行う 第3段階の「見つけ清掃」

ありがとうの心で掃除をする 第4段階の「感謝清掃」

誰かのためでなく、自分だけに問いかけ働く

第5段階の「正直清掃」



があります。10分間をただの掃除の時間としないで、自分の「成長の時間」としてほしいと思います。掃除で心を磨こう。

「片付けの大切さ」

校長先生の講話より

みなさんは片付けを意識して過ごしていますか。片付けはその字のとおり、「片を付ける」という言葉が短くなったものです。元来の意味は「しっかりと物事を終える」とか「整理整頓する」ということです。

さて、私たちの生活は多くのものに彩られています。朝起きてから夜寝るまでの間に様々なものに囲まれながら日々過ごしています。私自身、多くのプリントやメールに追われながら日々を過ごしていますが、自分自身で思い描くような「片付け」ができていません。時にはたった5分で済む仕事のデータを30分以上もかけて探すことがあります。探したものが見つければよいのですが、見つからずに最初から作り直さなければならないこともあります。そうなれば1時間以上かかることもあります。しっかりと「片付け」が行われていなかったために使わなくてよい時間を使ってしまっているのです。即ち「片付け」をしっかりと行うということは、無駄なく気持ちよく過ごすことや時間を有意義に使うことに直結しています。現代は飽食の時代、物が溢れる時代と言われています。数十年前と比べて、どちらかと言えば、「物があるのが当たり前」の感覚が自然と培われていっている気がします。物が見つからないときには、また、「新しい物を買えばよい。コピーすればよい。」と考える人も少なくないのではないのでしょうか。ですから、便利さの中に人の心が埋没しないことが大切であると考えます。

「無ければ、無くなれば新しい物」ではなくて、しっかりと「片付け」を行うことによって、1つ1つの物を大切にすることを意識を保ちながら、学校生活や家庭での生活を本当の意味で充実させてほしいと思います。